

現代日本論概論「現代日本における職業」

## 第9講 ジェンダーと労働

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 性別による働きかたのちがい

### 1 課題

別紙のグラフ (総務省統計局「労働力調査」2016年による) をみて、次のことについてまとめよ

- 男女間のちがい
- そのようなちがいが生まれる原因

### 2 復習

- 性別役割分業とは?
- キャリア間の葛藤とは?
- なぜ非正規雇用が選択されるのか?

### 3 M字型曲線

現在の日本社会では、女性の労働力率を年齢階級別に描くと、30代後半を底とする曲線となる。このグラフの形がアルファベットのMに似ているので、「M字型」曲線と呼ばれる。

一方、男性の労働力率は、20代後半～50代まで90%を超えており、また、中年期の落ち込みがない(高原型)。

### 4 今後の予定

12/18: ジェンダーと労働 (2)

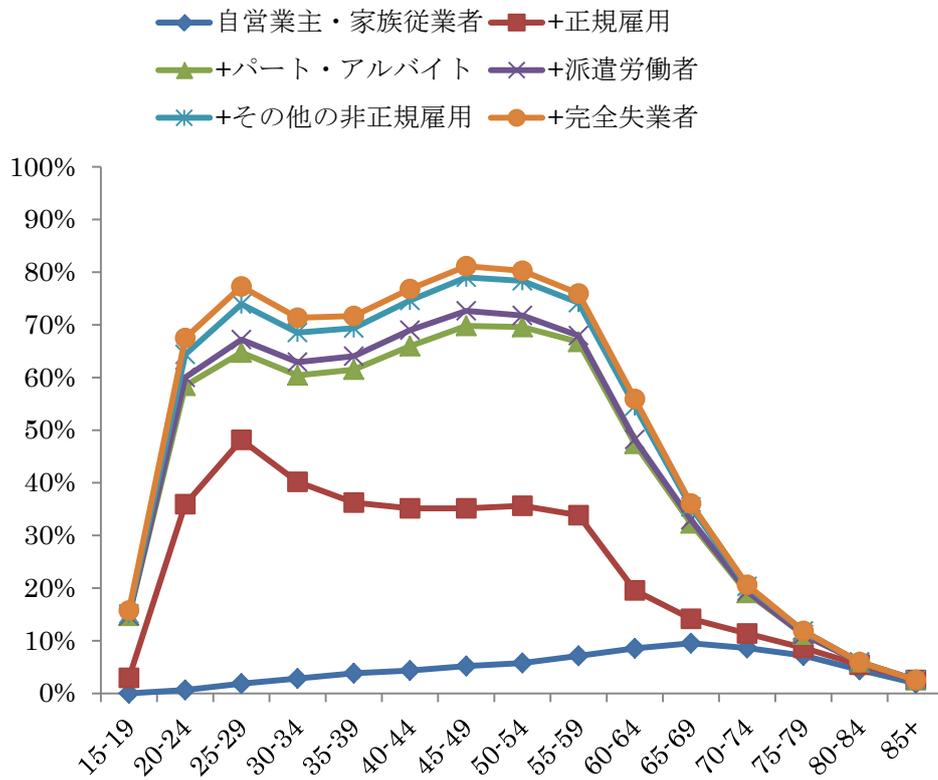
1/ 8: 社会的不平等と職業 (課題再提出用表紙配布)

1/15: 進捗確認課題 (自筆メモ (A4用紙1枚) のみ参照可) と課題再提出

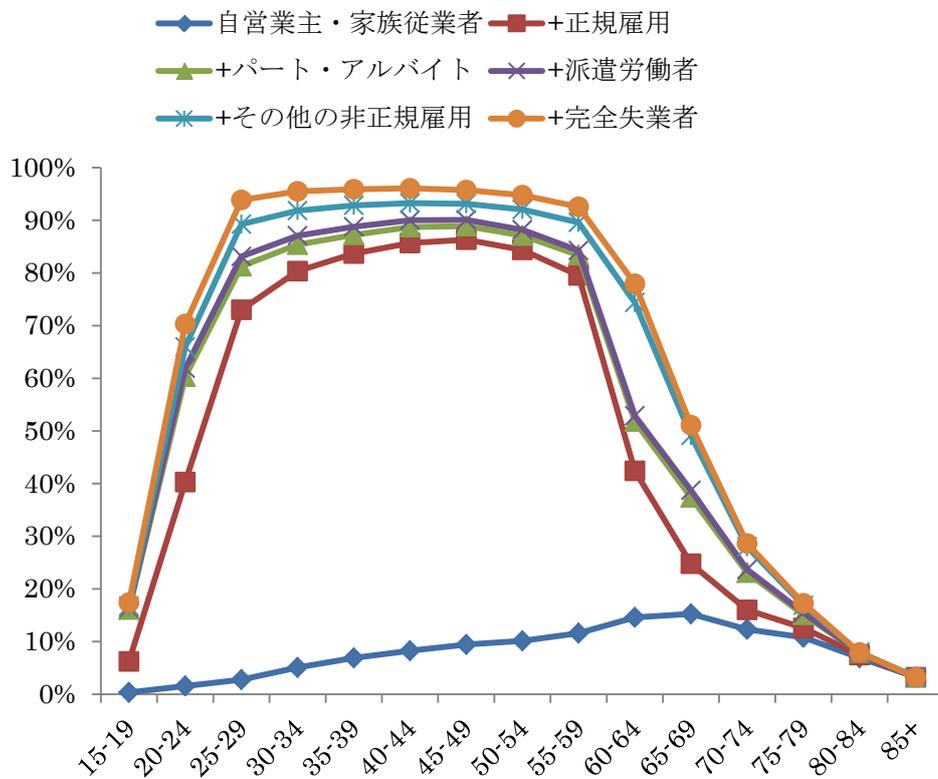
1/22: 課題返却と講評、授業全体のまとめ

### 文献

嵩さやか・田中重人 (編) (2007) 『ジェンダー法・政策研究叢書9 雇用・社会保障とジェンダー』東北大学出版会.  
Suzuki, F. and Tanaka S. (2013) “Women, work, and family issues.” Tanaka, S. (ed.) *A quantitative picture of contemporary Japanese families*. Tohoku University Press, pp. 195–234



2016年「労働力調査」女性年齢別就業状況



2016年「労働力調査」男性年齢別就業状況